**事務事業マネージメントシート** 

真岡市行政評価システム 今和6 年度

予算科目 予算科目	<b>务管理費</b> 6.企画費	. –	合計画重点事業) 総新 合戦略拡充事業) 戦新 □ 単年度のみ	シティプロモーショ : (総合計画新規事業) : (総合戦略新規事業) 平成31 年度~) 年度~	ン係 年度)
施策名 1 都市プランド戦略の推進 関連個別計画 真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 法令根拠 予算科目 1.一般会計 2.総務費 1.総務 予算科目 予算科目		□戦拡(総合	計戦略拡充事業) □ 戦新 □ 単年度のみ □ 毎年度実施(開始年度	平成31 年度~)	年度)
関連個別計画     真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略       法令根拠     予算科目       予算科目     1.一般会計       予算科目     2.総務費       予算科目     1.総務	务管理費 6.企画費			平成31 年度~)	年度)
関連個別計画       法令根拠       予算科目     1.一般会計     2.総務費     1.総務       予算科目       予算科目	务管理費 6.企画費	事業期間	□ 毎年度実施(開始年度		年度)
予算科目       1.一般会計       2.総務費       1.総務         予算科目          予算科目	务管理費 6.企画費	事業期間			年度)
予算科目 予算科目	务管理費 6.企画費		┃ <b>┃</b> ┃期間限定複数年度( ┃	年度~ 	年度)
予算科目					年度)
** **		1			i
まち・ひと・しごと創生総合戦略により、平成28年度から1人口減少対策及び「選ばれる都市もおか」への移住定住の6・とちぎ・しごと支援センター(ふるさと回帰支援センター・高校生向け定住促進事業・移住相談(オンラインを含む)・SNSを活用した情報発信	促進を実施し人口増加を図ることを目的	的とする。	<b>策課シティブロモーション係を新設。</b>		

① 6年 2年 3年	国業 H冊子配布 2.青年式お祝いの品 業務 野業 移住相談 2.個別移住相談体験 S信報発信 5.都内大学生対象 7.UI就職協定校等の活用 8.ふ 事業 H冊子配布 2.青年式お祝いの品 手業務 4.アプリ体験会	配送業務 3. 具 補助金 3. 移住 ブレ事業 6. 合 るさと回帰支技 記送業務 3. 具 終補助金 3. SNS 説明会での業内 ターとの連携 P自然資源等	フェアへ 同就職的明 髪センター 同すきすき 情報配信 対 6.UI就	ア イ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成人	標(事務事業の活動量を表す 名称 ***********************************		単位 人 人 件	747 799 0	728 781 4 4	767 933 3 4	6 年度(実績) 960 952 4	7 年度(見込) 960 801 3 8
6年定年 1.3 年 1.3 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 2 年 3 年 3 年	1学 け冊子配布 2.青年式お祝いの品 1学 1学 1学 1学 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年	補助金 3.移住 ブレ事業 6.合 るさと回帰支払 記送業務 3.真 余補助金 3.SNS 説明会での案携 ターとの連携 P自然資源等	フェアへ 同就職的明 髪センター 同すきすき 情報配信 対 6.UI就	ア イ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成人	名称  RHT/Cフレット配告人数(Nethから高校生)  式対象人数  定住イベント開催件数  移住相談体験補助金交付件数  発信するSNS媒体  標(対象の大きさを表す指標		単位 人 人 件	747 799 0	728 781 4 4	767 933 3 4	960 952 4	960 801 3
定言を対している。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	J冊子配布 2.青年式お祝いの品 対業務 3業 移住相談 2.個別移住相談体験 別情報発信 5.都内大学生対象: 7.UI就職協定校等の活用 8.ふ 可選業 H冊子配布 2.青年式お祝いの品 が選務 4.アプリ体験会 5業 移住相談 2.個別移住相談体 ドトによる情報発信 5.合同就職 が活用 7.ふるさと回帰支援セン 何を対象にしているのか)*人**	補助金 3.移住 ブレ事業 6.合 るさと回帰支払 記送業務 3.真 余補助金 3.SNS 説明会での案携 ターとの連携 P自然資源等	フェアへ 同就職的明 髪センター 同すきすき 情報配信 対 6.UI就	オの分割	成人	明けバンフレット配布人数(MAから高校生) 式対象人数 定住イベント開催件数 移住相談体験補助金交付件数 発信するSNS媒体 標(対象の大きさを表す指標	)の推移	人件件	747 799 0	728 781 4 4	767 933 3 4	960 952 4	960 801 3
1. オンか イ 4. 内 ター イ 4. 内 ター ス	移住相談 2.個別移住相談体験 NS情報発信 5.都内大学生対象フ 7.UI就職協定校等の活用 8.ふ 事業 H冊子配布 2.青年式お祝いの品配 事業務 4.アプリ体験会 1業務 4.アプリ体験会 1業務 4.アプリ体験会 1、「トによる情報発信 5.合同就職 活用 7.ふるさと回帰支援セン 何を対象にしているのか)*人**	プレ事業 6.合 るさと回帰支技 記送業務 3.真	同就職説明 夏センター 岡すきすき 情報配信 り 6.UI就	ウ エ オ <u>⑤対</u>	移住 個別 情報	定住イベント開催件数 移住相談体験補助金交付件数 発信するSNS媒体 標(対象の大きさを表す指標	)の推移	件件	7	4	3	9	3
7年度計画 実計 保証 できます できます できます できます できます できます できます できます	け田子配布 2.青年式お祝いの品間 対業務 4.アプリ体験会 業 移住相談 2.個別移住相談体場 トによる情報発信 5.合同就職 活用 7.ふるさと回帰支援セン 何を対象にしているのか)*人*	検補助金 3.SNS 説明会での案内 ターとの連携 中自然資源等	情報配信 内 6.UI就	才	情報	移住相談体験補助金交付件数 発信するSNS媒体 標(対象の大きさを表す指標	)の推移	件	7	4	4	9	8
シェアクラブ 移住促進事 1.オンライン 4.移住サイン 職協定校参加 ②対象(誰、	業務 4.アプリ体験会 1  業務 4.アプリ体験会 1  表 2. 個別移住相談体   ドーによる情報発信 5.合同就職  活用 7.ふるさと回帰支援セン  何を対象にしているのか)*人*	検補助金 3.SNS 説明会での案内 ターとの連携 中自然資源等	情報配信 内 6.UI就	才	情報	発信するSNS媒体 標(対象の大きさを表す指標	)の推移	種類		3	3		
4.移住サイ 職協定校等の アへの参加 ②対象(誰、	「トによる情報発信 5.合同就職 が活用 7.ふるさと回帰支援セン 何を対象にしているのか)*人*	説明会での案内 ターとの連携 P自然資源等	为 6.UI就	⑤対	象指	標(対象の大きさを表す指標	の推移					3	3
					:		の推移	単位		to the (shekit)			
市内中高生、	本市出身大学生、地方への移住	希望者		7	±.m	- 名称		■ 177				• 左座/由(e)	- 左座/目13)
				7	: ++			712	3 年度(実績)	4 牛皮(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				1		中高生・成人式対象者人数		٨	6,263	6,256	6,242	5,325	6,079
				1	ふる	さと回帰支援センター来訪・相談件	数	件	49,514	52,312	61,720		
				ゥ 									
	③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)			I									
③ 意図(この				才 ⑥成	课指	標(対象における意図された	対象の程度	要)の推移					
移住定住促進		市に住み続けた	たい 移住したい	. —		名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
	い)と思ってもらう。	1010 12 12 17 18 17 18	CV (	1_	中学	生アンケート(住み続けたい)		%	60	45	57.3	-	-
				1	移住	相談件数(オンライン・ロゴ含み)		件	35	228	326	331	300
				ゥ 	社会	增減数		۸	-116	471	-14	70	100
				Ι	高校	生アンケート(4年1回)(住み続け	t <i>t</i> =11)	%		-	36.4	-	-
				<u> </u>	-	7ォロワー数 		٨		385	513	649	800
(2) 総事業費の推移 単位 3 年度(			(実績)		4 年度(実績)	5	年度(到		6 年度	(実績)	7 年度	(見込)	
	国庫支出金 	千円	279		0 	0	254 0 0 0		0	653 0 0 0 2,848		257 0 0	
事 !	財	千円											
▮ ヘ  費		千円				0							
		千円		4.(	 039			2,621					
	事業費計(A)			318	1,897	2,621			3,501		1,801		

## \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価 1 次評価の部 □ 見直し余地はない □ 見直し余地がある ①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か? (評価理由) 対象者、対象世代と接点を持ち、本市の魅力住みやすさの情報を発信気づかせることで、移住定住促進に結び付 目的妥当性評価 ②公共関与の妥当性 □ 見直し余地はない □ 見直し余地がある 市が事業に関与する必要があるか? (評価理由) 移住定住促進は、行政自らが行う事業である。 ③対象と意図の妥当性 □ 対象・意図を見直す必要はない ■ 対象を見直す必要がある ■ 意図を見直す必要がある ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か? (評価理由) ・対象を限定・追加する必要があるか? 適切である。 ・意図を限定・追加する必要があるか? ④成果の向上余地 □ 向上余地はない □ 向上余地がある ・成果を向上させる余地はあるかどうか?ない場合の理由は適切か? 〈BI IIII-4年四/ SNS等による情報配信が効果的であることから、SNSやデジタル広告を活用し、ターゲットに沿った情報を発 信していく。 また、移住サイト「もおかぐらし」には、ターゲットが得たい情報を掲載できるよう、マーケティングを意識 し掲載内容を見直していく。 さらに、高校生に対する郷土愛育成を育む取り組みを強化することで、Uターン機運の醸成と関係人口を増や す。 (評価理由) ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか? 有効性評価 ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名: ・類似事業はないか、統合や連携はできないか? ■ 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名: ■ 類似事業はない (評価理由) 移住定住促進事業は、対象者に本市の情報を発信し、移住定住の際の支援をするUIJターン就業定住助成事業、就 労者定住促進奨学金返還支援事業、合同就職面接会開催事業と連携することで、移住定住促進の強化が図られる ⑥事業費の削減余地 □ 削減余地がない □ 削減余地がある ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか? (評価理由) ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか? 事業実施するにあたり最小の経費である。 効率性評価 3. 改革・改善方向の部 (1) 改革の方向性(改革案・実行計画) (3) 改革・改善による期待成果 □ 見直し(□:目的妥当性 □:有効性 □:効率性) □ 統合 ■ 継続 移住検討者に本市を認知してもらい、移住候補地の1つとなるよう情報発信を強化する。また、高校生を対象としたシビックプライド醸成事業 に取り組む。 維持 増加 削減 向上 成果 維持 (2) 課題、課題の克服の方向性 は課題)、移住に関する戦略的な情報発信・リターンを機運を高めるための高校生対象のシピックプライド事業の強化 【克服の方向性】R7年度の移住プロモーション戦略として、デジタルによる日本一のいちごと子育て支援策等を提供できるよう、特設サイト 「おおかぐらし」の見直しを行い情報発信を強化する。また、高校生に対し真岡市ならではの体験をしてもらうことで郷土愛を育成し、若者が チャレンジできるまちづくりに取り組み移住定住につなげたい。 低下 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性) (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 □ 記述説明不足(説明責任不充分) □ 評価内容が客観性を欠く □ 評価内容は客観的と言える (2) 2 次評価者としての評価結果 (5) 改革・改善による期待成果 ①目的妥当性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり ②有効性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり □ 適切 □ 見直し余地あり 維持 増加 削減 (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 (4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 向上 □ 廃止 □ 休止 □ 目的絞込み □ 目的拡充 成果 維持 □ 事業統廃合 □ 事業のやり方改善 低下 □ 予算削減 □ 予算増大 □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)